

# 大阪市の推計人口年報（平成 25 年）

～平成 25 年 10 月 1 日現在の推計人口と 1 年間の人口異動の動向～

平成 25 年 11 月

大 阪 市

# 目 次

1	人 口 総 数	1
2	男 女 別 人 口	1
3	世 帯 数	2
4	区 別 人 口	2
5	区 別 世 帯 数	6
6	人 口 異 動	8
7	年 齢 別 人 口	12

## 《利用上の注意》

### ・推計方法について

推計人口（毎月1日現在）は、平成24年7月までは、「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の増減を国勢調査結果の人口に加減して算出し、平成24年8月以降は、外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の増減を加減して算出している。本資料は平成22年国勢調査結果による推計人口である。

### ・人口異動について

推計人口においては、出生と死亡の差を自然動態（自然増減）とし、転入と転出の差を社会動態（社会増減）とした。転入、転出は市内の区相互間を含んでいる。

人口異動の自然増減率、出生率、死亡率、社会増減率、転入率、転出率は、前年10月1日現在の人口1000人に対する割合（千分比）である。※ 単位：‰（パーミル）

### ・年齢別人口について

年齢別人口は、平成24年7月までは、国勢調査結果の年齢（各歳）、男女別人口を基準に、「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の年齢（各歳）、男女別人口異動を加減して算出し、平成24年8月以降は、外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の年齢（各歳）、男女別人口異動を加減して算出した推計人口である。

## 1 人口総数

平成 25 年 10 月 1 日の大阪市の推計人口は 268 万 3487 人で、前年（平成 24 年 10 月 1 日）と比べると 6112 人（0.2%）の増加となった。

表 1－1 人口の推移

年次	人口 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)
<b>17年</b>	<b>2,628,811</b>	<b>4,036</b>	<b>0.2</b>
18年	2,634,944	6,133	0.2
19年	2,642,854	7,910	0.3
20年	2,650,670	7,816	0.3
21年	2,659,796	9,126	0.3
<b>22年</b>	<b>2,665,314</b>	<b>5,518</b>	<b>0.2</b>
23年	2,670,579	5,265	0.2
24年	2,677,375	6,796	0.3
25年	2,683,487	6,112	0.2

1 太字は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口

2 平成18年から21年の推計人口は平成22年国勢調査結果により修正を行っているため、推計人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

## 2 男女別人口

平成 25 年の人口を男女別にみると、男性が 130 万 1930 人、女性が 138 万 1557 人となっている。

男女別の人口を平成 24 年と比べると、男性が 2521 人（0.2%）増、女性が 3591 人（0.3%）増とそれぞれ増加している。人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は 94.2 となっている。

表 2－1 男女別人口の推移

年次	男（人）		女（人）		性比 (女性=100)
		増減数(人)		増減数(人)	
<b>17年</b>	<b>1,280,325</b>	<b>302</b>	<b>1,348,486</b>	<b>3,734</b>	<b>94.9</b>
18年	1,280,924	599	1,354,020	5,534	94.6
19年	1,284,596	3,672	1,358,258	4,238	94.6
20年	1,287,428	2,832	1,363,242	4,984	94.4
21年	1,291,950	4,522	1,367,846	4,604	94.5
<b>22年</b>	<b>1,293,798</b>	<b>1,848</b>	<b>1,371,516</b>	<b>3,670</b>	<b>94.3</b>
23年	1,296,084	2,286	1,374,495	2,979	94.3
24年	1,299,409	3,325	1,377,966	3,471	94.3
25年	1,301,930	2,521	1,381,557	3,591	94.2

1 太字は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口

2 平成18年から21年の推計人口は平成22年国勢調査結果により修正を行っているため、推計人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

### 3 世帯数

平成 25 年の世帯数は 135 万 3240 世帯で、1 世帯当たり人員は 1.98 人となっている。

これを平成 24 年と比べると、1 万 1686 世帯 (0.9%) の増加となっている。

1 世帯当たり人員は一貫して減少を続けており、平成 24 年の 2.00 人からさらに減少し、平成 25 年では 1.98 人となり、ついに 2 人台を割り込んだ。

表 3-1 世帯数の推移

年次	世帯数 (世帯)	増減数(世帯)		1世帯当たり 人員(人)
		増減数(世帯)	増減率(%)	
<b>17年</b>	<b>1,245,012</b>	<b>12,030</b>	<b>1.0</b>	<b>2.11</b>
18年	1,261,113	16,101	1.3	2.09
19年	1,273,724	12,611	1.0	2.07
20年	1,289,751	16,027	1.3	2.06
21年	1,305,639	15,888	1.2	2.04
<b>22年</b>	<b>1,317,990</b>	<b>12,351</b>	<b>0.9</b>	<b>2.02</b>
23年	1,329,516	11,526	0.9	2.01
24年	1,341,554	12,038	0.9	2.00
25年	1,353,240	11,686	0.9	1.98

太字は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口による。

### 4 区別人口

平成 25 年の人口を区別にみると、平野区が 19 万 7839 人と最も多く、次いで東淀川区が 17 万 6450 人、淀川区が 17 万 4025 人、城東区が 16 万 4904 人、住吉区が 15 万 5061 人と続いている。

この 1 年間の人口増加数を区別にみると、中央区が 3003 人と最も多く、次いで北区が 2886 人、浪速区が 1814 人、西区が 1564 人など、引き続き市域中心部を中心に増加している。

人口増加率においても中央区が 3.6% と最も高く、次いで浪速区が 2.8%、北区が 2.5%、福島区が 2.1%、西区が 1.8% など、人口増減数と同様に、市域中心部で増加率が高くなっている。

一方、人口減少数では、生野区が 1072 人と最も多く、次いで住之江区が 934 人、平野区が 835 人、大正区が 820 人、西成区が 792 人と続いている。人口減少率では、大正区が 1.2% と最も高く、次いで港区が 0.9%、生野区が 0.8%、住之江区と西成区が 0.7% と続いている。

図 4-1 区別の推計人口 (平成 25 年)

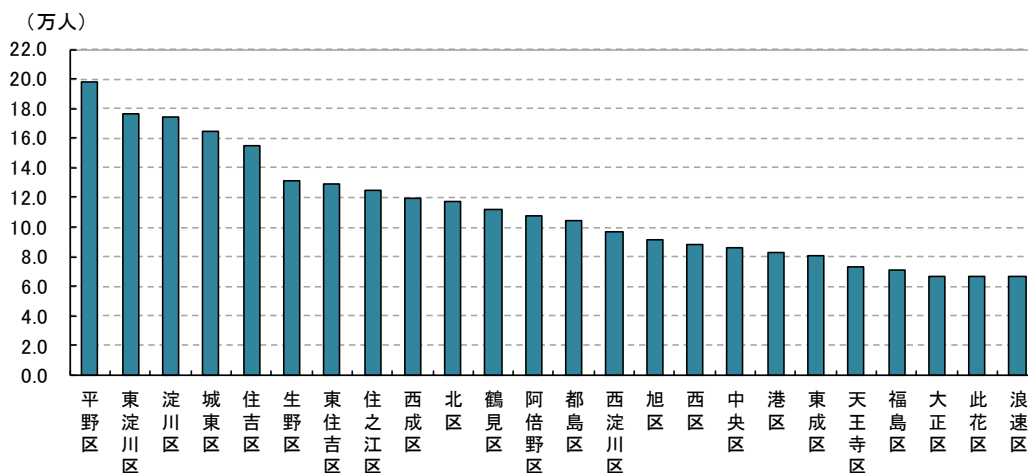


表4-1 区別の推計人口（平成25年）

区名	人口（人）		対前年（平成24年）	
	平成25年	平成24年	増減数（人）	増減率（%）
大阪市	2,683,487	2,677,375	6,112	0.2
北区	117,543	114,657	2,886	2.5
都島区	104,059	103,878	181	0.2
福島区	71,367	69,876	1,491	2.1
此花区	66,351	66,368	△ 17	△ 0.0
中央区	86,032	83,029	3,003	3.6
西区	88,307	86,743	1,564	1.8
港区	82,593	83,358	△ 765	△ 0.9
大正区	67,138	67,958	△ 820	△ 1.2
天王寺区	73,443	72,187	1,256	1.7
浪速区	66,246	64,432	1,814	2.8
西淀川区	96,858	97,333	△ 475	△ 0.5
淀川区	174,025	172,694	1,331	0.8
東淀川区	176,450	177,064	△ 614	△ 0.3
東成区	80,355	80,530	△ 175	△ 0.2
生野区	130,720	131,792	△ 1,072	△ 0.8
旭区	91,027	91,514	△ 487	△ 0.5
城東区	164,904	165,361	△ 457	△ 0.3
鶴見区	111,877	111,684	193	0.2
阿倍野区	107,909	107,358	551	0.5
住之江区	124,655	125,589	△ 934	△ 0.7
住吉区	155,061	155,253	△ 192	△ 0.1
東住吉区	129,168	129,691	△ 523	△ 0.4
平野区	197,839	198,674	△ 835	△ 0.4
西成区	119,560	120,352	△ 792	△ 0.7

10月1日現在推計人口

表4-2 人口増加数（上位7区）

順位	平成22年～23年		平成23年～24年		平成24年～25年	
	区名	増加数（人）	区名	増加数（人）	区名	増加数（人）
1	中央区	2,293	中央区	2,049	中央区	3,003
2	北区	2,265	北区	2,000	北区	2,886
3	西区	1,825	西区	1,860	浪速区	1,814
4	福島区	1,651	天王寺区	1,373	西区	1,564
5	浪速区	1,404	浪速区	1,283	福島区	1,491
6	天王寺区	1,039	福島区	935	淀川区	1,331
7	此花区	508	都島区	787	天王寺区	1,256

表4-3 人口減少数（上位7区）

順位	平成22年～23年		平成23年～24年		平成24年～25年	
	区名	減少数（人）	区名	減少数（人）	区名	減少数（人）
1	生野区	△ 1,387	西成区	△ 912	生野区	△ 1,072
2	住之江区	△ 914	港区	△ 858	住之江区	△ 934
3	大正区	△ 787	生野区	△ 830	平野区	△ 835
4	港区	△ 731	大正区	△ 765	大正区	△ 820
5	西成区	△ 708	住之江区	△ 707	西成区	△ 792
6	平野区	△ 704	平野区	△ 627	港区	△ 765
7	東住吉区	△ 584	東住吉区	△ 449	東淀川区	△ 614

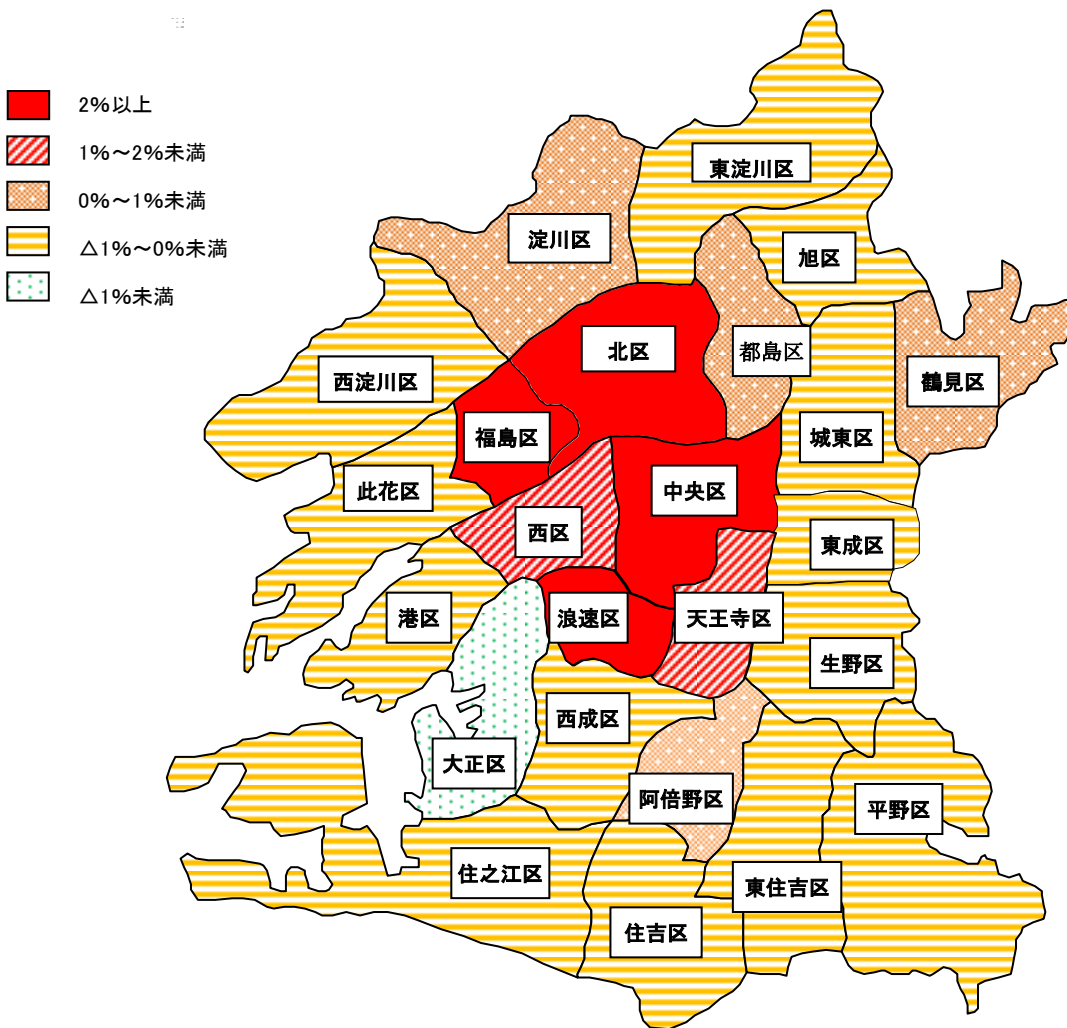
表4-4 人口増加率（上位7区）

順位	平成22年～23年		平成23年～24年		平成24年～25年	
	区名	増加率（%）	区名	増加率（%）	区名	増加率（%）
1	中央区	2.9	中央区	2.5	中央区	3.6
2	福島区	2.5	西区	2.2	浪速区	2.8
3	浪速区	2.3	浪速区	2.0	北区	2.5
4	西区	2.2	天王寺区	1.9	福島区	2.1
5	北区	2.1	北区	1.8	西区	1.8
6	天王寺区	1.5	福島区	1.4	天王寺区	1.7
7	此花区	0.8	都島区	0.8	淀川区	0.8

表4-5 人口減少率（上位7区）

順位	平成22年～23年		平成23年～24年		平成24年～25年	
	区名	増加率（%）	区名	増加率（%）	区名	増加率（%）
1	大正区	-1.1	大正区	-1.1	大正区	-1.2
2	生野区	-1.0	港区	-1.0	港区	-0.9
3	港区	-0.9	西成区	-0.8	生野区	-0.8
4	住之江区	-0.7	生野区	-0.6	住之江区	-0.7
5	西成区	-0.6	住之江区	-0.6	西成区	-0.7
6	旭区	-0.6	旭区	-0.4	旭区	-0.5
7	東住吉区	-0.4	東住吉区	-0.3	西淀川区	-0.5

図4-2 区別人口増減率の分布



## 5 区別世帯数

平成25年の世帯数を区別にみると、淀川区が9万3788世帯と最も多く、次いで東淀川区が9万3740世帯、平野区が8万7836世帯、城東区が7万6873世帯、住吉区が7万4929世帯と続いている。世帯数が最も少ない区は此花区の3万135世帯で、次いで大正区が3万257世帯、天王寺区が3万6837世帯と続いている。

この1年間の世帯数の増加数を区別にみると、中央区が2012世帯と最も多く、次いで北区が1874世帯、浪速区が1362世帯、淀川区が1253世帯と続いており、21区で増加となっている。

世帯数の増加率では、中央区が3.8%と最も高く、次いで浪速区が3.1%、福島区が2.9%、北区が2.7%など、市域中心部で高い増加率となっている。

1世帯当たり人員をみると、鶴見区が2.41人と最も多く、次いで平野区が2.25人、大正区が2.22人、此花区と西淀川区が2.20人と続いている。一方、最も少ない区は浪速区の1.46人であり、次いで中央区が1.58人、西成区が1.62人と続いている。

表5-1 区別世帯数

	世帯数(世帯)		対前年(平成24年)		1世帯当たり 人員(人)
	平成25年	平成24年	増減数(世帯)	増減率(%)	平成25年
大阪市	1,353,240	1,341,554	11,686	0.9	1.98
北区	70,534	68,660	1,874	2.7	1.67
都島区	51,201	50,868	333	0.7	2.03
福島区	37,163	36,120	1,043	2.9	1.92
此花区	30,135	30,003	132	0.4	2.20
中央区	54,381	52,369	2,012	3.8	1.58
西区	50,578	49,577	1,001	2.0	1.75
港区	40,265	40,398	△133	△0.3	2.05
大正区	30,257	30,384	△127	△0.4	2.22
天王寺区	36,837	36,146	691	1.9	1.99
浪速区	45,251	43,889	1,362	3.1	1.46
西淀川区	44,052	43,997	55	0.1	2.20
淀川区	93,788	92,535	1,253	1.4	1.86
東淀川区	93,740	93,428	312	0.3	1.88
東成区	39,802	39,569	233	0.6	2.02
生野区	63,154	63,132	22	0.0	2.07
旭区	43,997	43,954	43	0.1	2.07
城東区	76,873	76,666	207	0.3	2.15
鶴見区	46,416	46,031	385	0.8	2.41
阿倍野区	50,585	50,243	342	0.7	2.13
住之江区	57,128	56,958	170	0.3	2.18
住吉区	74,929	74,718	211	0.3	2.07
東住吉区	60,571	60,416	155	0.3	2.13
平野区	87,836	87,402	434	0.5	2.25
西成区	73,767	74,091	△324	△0.4	1.62

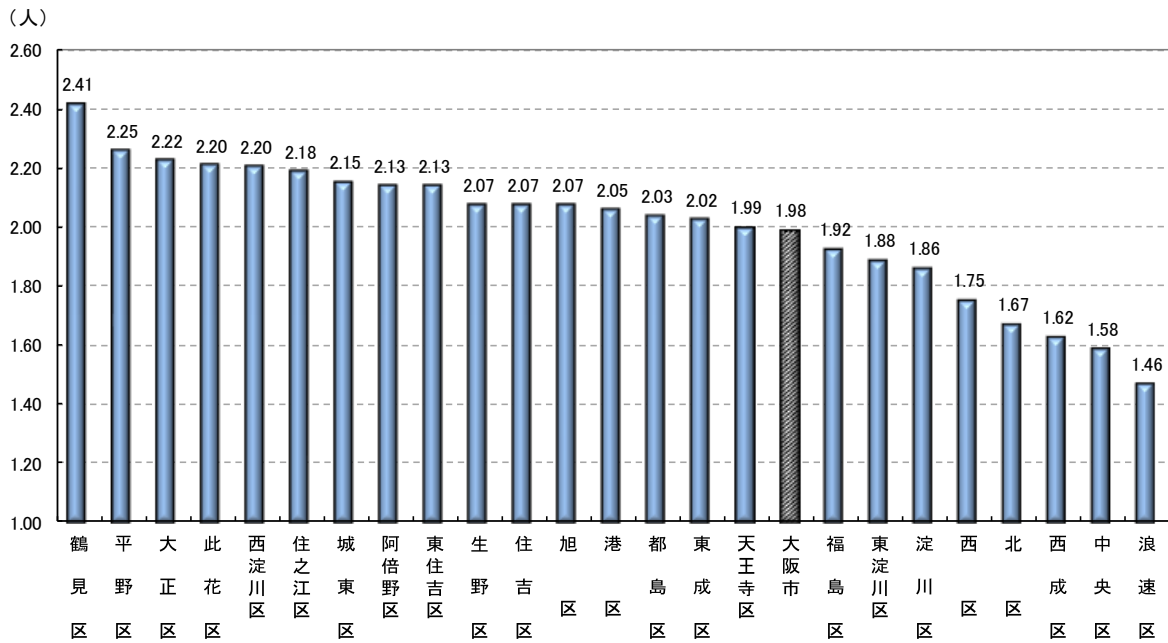
10月1日現在推計人口



表5-2 世帯数及び1世帯当たり世帯人員（上位・下位5区）

世帯数（世帯）				1世帯当たり世帯人員（人）			
上位5区		下位5区		上位5区		下位5区	
淀川区	93,788	此花区	30,135	鶴見区	2.41	浪速区	1.46
東淀川区	93,740	大正区	30,257	平野区	2.25	中央区	1.58
平野区	87,836	天王寺区	36,837	大正区	2.22	西成区	1.62
城東区	76,873	福島区	37,163	此花区	2.20	北区	1.67
住吉区	74,929	東成区	39,802	西淀川区	2.20	西区	1.75

図5-1 区別1世帯当たり世帯人員



## 6 人口異動（前年10月中から当年9月中の合計）

### (1) 自然動態

平成25年の自然動態（出生と死亡の差）は5305人の減少となり、平成24年の自然動態（4337人減）と比べると、968人の減少となった。また、自然増減率は△2.0‰（前年は△1.6‰）となっている。

自然増加数を区別にみると、西区が503人と最も多く、次いで鶴見区が361人、中央区が290人、北区が159人、福島区が145人など8区で増加となっている。一方、自然減少数では、西成区が2126人と最も多く、次いで生野区が886人、東住吉区が609人、平野区が493人と続いている。

自然増加率では、西区が5.8‰と最も高く、次いで中央区が3.5‰、鶴見区が3.2‰と続いている。自然減少率では、西成区が17.7‰と最も高く、次いで大正区と生野区が6.7‰と続いている。

#### ア 出生

平成25年の出生数は2万3234人で、平成24年（2万3067人）と比べると167人の増加となり、出生率は8.7‰（前年8.6‰）となっている。

出生数を区別にみると、平野区が1667人と最も多く、次いで東淀川区が1625人、淀川区が1603人、城東区が1470人と続いている。出生数が最も少ない区は大正区の416人となっている。

出生率では、西区が12.4‰と最も高く、次いで鶴見区が11.7‰、福島区が11.1‰、中央区が10.8‰と続いている。最も低いのは西成区の4.5‰となっている。

#### イ 死亡

平成25年の死亡数は2万8539人で、平成24年（2万7404人）と比べると1135人の増加となり、死亡率は10.7‰（前年は10.3‰）となっている。

死亡数を区別にみると、西成区が2662人と最も多く、次いで平野区が2160人、生野区が1751人、住吉区が1712人と続いている。死亡数が最も少ない区は西区の572人である。

死亡率では、西成区が22.1‰と最も高く、次いで生野区が13.3‰、大正区が12.9‰と続いている。最も死亡率が低いのは西区の6.6‰となっている。

表6-1 自然動態の推移

年次	自然増減			出生			死亡		
	増減数 (人)	対前年 (人)	自然増減率 (‰)	出生数 (人)	対前年 (人)	出生率 (‰)	死亡数 (人)	対前年 (人)	死亡率 (‰)
17年	△ 1,878	△ 2,077	△ 0.7	22,706	△ 975	8.7	24,584	1,102	9.4
18年	△ 1,412	466	△ 0.5	22,823	117	8.7	24,235	△ 349	9.2
19年	△ 1,660	△ 248	△ 0.6	23,568	745	8.9	25,228	993	9.6
20年	△ 1,506	154	△ 0.6	24,028	460	9.1	25,534	306	9.7
21年	△ 1,703	△ 197	△ 0.6	23,346	△ 682	8.8	25,049	△ 485	9.5
22年	△ 3,184	△ 1,481	△ 1.2	23,608	262	8.9	26,792	1,743	10.1
23年	△ 3,945	△ 761	△ 1.5	23,766	158	8.9	27,711	919	10.4
24年	△ 4,337	△ 392	△ 1.6	23,067	△ 699	8.6	27,404	△ 307	10.3
25年	△ 5,305	△ 968	△ 2.0	23,234	167	8.7	28,539	1,135	10.7

1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰(パーミル)である。

3 平成18年から21年の推計人口は、平成22年国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

表6-2 区別自然動態

区名	自然増減数 (人)	自然増減率 (‰)	出生数 (人)	出生率 (‰)	死亡数 (人)	死亡率 (‰)
大阪市	△ 5,305	△ 2.0	23,234	8.7	28,539	10.7
北区	159	1.4	1,070	9.3	911	7.9
都島区	△ 10	△ 0.1	968	9.3	978	9.4
福島区	145	2.1	777	11.1	632	9.0
此花区	△ 124	△ 1.9	637	9.6	761	11.5
中央区	290	3.5	899	10.8	609	7.3
西区	503	5.8	1,075	12.4	572	6.6
港区	△ 282	△ 3.4	627	7.5	909	10.9
大正区	△ 458	△ 6.7	416	6.1	874	12.9
天王寺区	125	1.7	706	9.8	581	8.0
浪速区	△ 78	△ 1.2	571	8.9	649	10.1
西淀川区	△ 168	△ 1.7	846	8.7	1,014	10.4
淀川区	59	0.3	1,603	9.3	1,544	8.9
東淀川区	43	0.2	1,625	9.2	1,582	8.9
東成区	△ 220	△ 2.7	668	8.3	888	11.0
生野区	△ 886	△ 6.7	865	6.6	1,751	13.3
旭区	△ 442	△ 4.8	684	7.5	1,126	12.3
城東区	△ 145	△ 0.9	1,470	8.9	1,615	9.8
鶴見区	361	3.2	1,308	11.7	947	8.5
阿倍野区	△ 198	△ 1.8	892	8.3	1,090	10.2
住之江区	△ 358	△ 2.9	989	7.9	1,347	10.7
住吉区	△ 393	△ 2.5	1,319	8.5	1,712	11.0
東住吉区	△ 609	△ 4.7	1,016	7.8	1,625	12.5
平野区	△ 493	△ 2.5	1,667	8.4	2,160	10.9
西成区	△ 2,126	△ 17.7	536	4.5	2,662	22.1

- 1 自然増減数、出生数、死亡数は平成24年10月中から平成25年9月中の合計である。
- 2 自然増減率、出生率、死亡率は平成24年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-3 自然増減率、出生率及び死亡率（上位7区）

順位	自然増減率		出生率		死亡率	
	区名	(‰)	区名	(‰)	区名	(‰)
1	西区	5.8	西区	12.4	西成区	22.1
2	中央区	3.5	鶴見区	11.7	生野区	13.3
3	鶴見区	3.2	福島区	11.1	大正区	12.9
4	福島区	2.1	中央区	10.8	東住吉区	12.5
5	天王寺区	1.7	天王寺区	9.8	旭区	12.3
6	北区	1.4	此花区	9.6	此花区	11.5
7	淀川区	0.3	北区	9.3	住吉区	11.0

## (2) 社会動態

平成25年の社会動態（転入と転出の差）は1万1417人の増加となり、平成24年の社会動態（1万1133人増）と比べると、284人の増加となった。また、社会増減率は4.3%（前年は4.2%）となっている。

社会増加数を区別にみると、北区が2727人と最も多く、次いで中央区が2713人、浪速区が1892人、福島区が1346人など14区で増加となっている。一方、社会減少数では、東淀川区が657人と最も多く、次いで住之江区が576人、港区が483人と続いている。

社会増加率では、中央区が32.7%と最も高く、次いで浪速区が29.4%、北区が23.8%、福島区が19.3%など、社会増加数と同様に市域中心部で高い増加率となっている。社会減少率では、港区が5.8%で最も高く、大正区が5.3%、住之江区が4.6%と続いている。

### ア 転入

平成25年の転入数は17万7364人で、平成24年（17万5509人）と比べると1855人の増加となり、転入率は66.2%（前年は65.7%）となっている。

転入数を区別にみると、中央区が1万3816人と最も多く、次いで淀川区が1万3184人、北区が1万3080人、東淀川区が1万870人、浪速区が9892人と続いている。転入数が最も少ない区は大正区の2261人である。

転入率では、中央区が166.4%と最も高く、次いで浪速区が153.5%、北区が114.1%、西区が108.4%と続いている。転入率でも、大正区が33.3%と最も低くなっている。

### イ 転出

平成25年の転出数は16万5947人で、平成24年（16万4376人）と比べると1571人の増加となり、転出率は62.0%（前年は61.6%）となっている。

転出数を区別にみると、淀川区が1万1912人と最も多く、次いで東淀川区が1万1527人、中央区が1万1103人、北区が1万353人と続く。転出数が最も少ない区は大正区の2623人である。

転出率では、中央区が133.7%と最も高く、次いで浪速区が124.2%、西区が96.2%、北区が90.3%と続いている。転出率においても、大正区が38.6%と最も低くなっている。

表6-4 社会動態の推移

年次	社会増減			転入			転出		
	増減数 (人)	対前年 (人)	社会 増減率 (%)	転入数 (人)	対前年 (人)	転入率 (%)	転出数 (人)	対前年 (人)	転出率 (%)
17年	8,144	1,293	3.1	179,006	△ 3,911	68.2	170,862	△ 5,204	65.1
18年	8,021	△ 123	3.1	178,432	△ 574	67.9	170,411	△ 451	64.8
19年	10,045	2,024	3.8	180,072	1,640	68.3	170,027	△ 384	64.5
20年	9,800	△ 245	3.7	179,069	△ 1,003	67.8	169,269	△ 758	64.0
21年	11,304	1,504	4.3	181,851	2,782	68.6	170,547	1,278	64.3
22年	9,178	△ 2,126	3.5	177,693	△ 4,158	66.8	168,515	△ 2,032	63.4
23年	9,210	32	3.5	175,872	△ 1,821	66.0	166,662	△ 1,853	62.5
24年	11,133	1,923	4.2	175,509	△ 363	65.7	164,376	△ 2,286	61.6
25年	11,417	284	4.3	177,364	1,855	66.2	165,947	1,571	62.0

1 社会増減数、転入数、転出数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰(パーミル)である。

3 平成18年から21年の推計人口は、平成22年国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

表6-5 区別社会動態

区名	社会増減数 (人)	社会増減率 (%)	転入数 (人)	転入率 (%)	転出数 (人)	転出率 (%)
大阪市	11,417	4.3	177,364	66.2	165,947	62.0
北区	2,727	23.8	13,080	114.1	10,353	90.3
都島区	191	1.8	6,505	62.6	6,314	60.8
福島区	1,346	19.3	6,398	91.6	5,052	72.3
此花区	107	1.6	3,331	50.2	3,224	48.6
中央区	2,713	32.7	13,816	166.4	11,103	133.7
西区	1,061	12.2	9,404	108.4	8,343	96.2
港区	△ 483	△ 5.8	3,868	46.4	4,351	52.2
大正区	△ 362	△ 5.3	2,261	33.3	2,623	38.6
天王寺区	1,131	15.7	6,868	95.1	5,737	79.5
浪速区	1,892	29.4	9,892	153.5	8,000	124.2
西淀川区	△ 307	△ 3.2	4,436	45.6	4,743	48.7
淀川区	1,272	7.4	13,184	76.3	11,912	69.0
東淀川区	△ 657	△ 3.7	10,870	61.4	11,527	65.1
東成区	45	0.6	5,238	65.0	5,193	64.5
生野区	△ 186	△ 1.4	6,920	52.5	7,106	53.9
旭区	△ 45	△ 0.5	4,821	52.7	4,866	53.2
城東区	△ 312	△ 1.9	8,765	53.0	9,077	54.9
鶴見区	△ 168	△ 1.5	5,226	46.8	5,394	48.3
阿倍野区	749	7.0	7,158	66.7	6,409	59.7
住之江区	△ 576	△ 4.6	5,068	40.4	5,644	44.9
住吉区	201	1.3	8,375	53.9	8,174	52.6
東住吉区	86	0.7	6,626	51.1	6,540	50.4
平野区	△ 342	△ 1.7	8,071	40.6	8,413	42.3
西成区	1,334	11.1	7,183	59.7	5,849	48.6

1 社会増減数、転入数、転出数は平成24年10月中から平成25年9月中の合計である。

2 社会増減率、転入率、転出率は平成24年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-6 社会増減率、転入率及び転出率（上位7区）

順位	社会増減率		転入率		転出率	
	区名	(%)	区名	(%)	区名	(%)
1	中央区	32.7	中央区	166.4	中央区	133.7
2	浪速区	29.4	浪速区	153.5	浪速区	124.2
3	北区	23.8	北区	114.1	西区	96.2
4	福島区	19.3	西区	108.4	北区	90.3
5	天王寺区	15.7	天王寺区	95.1	天王寺区	79.5
6	西区	12.2	福島区	91.6	福島区	72.3
7	西成区	11.1	淀川区	76.3	淀川区	69.0

## 7 年齢別人口

### (1) 年齢(3区分)別人口

平成25年の人口について年齢(3区分)別割合をみると、0～14歳人口(年少人口)は11.4%、15～64歳人口(生産年齢人口)は64.4%、65歳以上人口(老年人口)は24.2%となっており、65歳以上人口の割合のみが、平成24年(23.5%)と比べて上昇している。

表7-1 年齢3区分別推計人口

年次	人 口 (人)					割 合 (%)				
	総数 1)	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上	総数 2)	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上
平成22年	2,665,314	308,093	1,734,432	598,835	270,993	100.0	11.7	65.7	22.7	10.3
23年	2,670,579	307,028	1,737,212	602,387	283,842	100.0	11.6	65.6	22.8	10.7
24年	2,677,375	305,525	1,724,985	622,913	296,186	100.0	11.5	65.0	23.5	11.2
25年	2,683,487	303,944	1,712,359	643,232	305,303	100.0	11.4	64.4	24.2	11.5

平成22年は国勢調査結果

平成23年から平成25年は10月1日現在年齢別推計人口

1) 人口総数は年齢「不詳」を含むため、年齢3区分別人口の合計と一致しない。

2) 構成比は年齢「不詳」を除いて算出している。

### (2) 区別の年齢(3区分)別人口

区別の年齢(3区分)別人口を平成24年と比べると、年少人口の増加が最も多いのは中央区の545人増で、最も減少が大きいのは平野区の750人減であった。生産年齢人口では、中央区の1890人増が最も多く、最も減少が大きかったのは住之江区の2019人減であった。老年人口では、平野区の1590人増が最も多いものの、全ての区でそれぞれ増加となった。

表7-2 区別の年齢(3区分)別人口

区名	平成25年				平成24年からの増減数		
	総数 1)	0～ 14歳	15～ 64歳	65歳 以上	0～ 14歳	15～ 64歳	65歳 以上
大 阪 市	2,683,487	303,944	1,712,359	643,232	△ 1,581	△ 12,626	20,319
北 区	117,543	9,985	82,781	22,130	429	1,483	974
都 島 区	104,059	11,899	68,203	22,671	82	△ 752	851
福 島 区	71,367	8,340	48,327	13,817	229	864	398
此 花 区	66,351	8,157	41,616	16,465	△ 10	△ 577	570
中 央 区	86,032	7,232	64,386	14,408	545	1,890	568
西 区	88,307	9,486	64,759	14,050	301	633	630
港 区	82,593	9,372	51,601	21,095	△ 210	△ 1,094	539
大 正 区	67,138	7,796	40,233	18,755	△ 285	△ 1,103	568
天 王 寺 区	73,443	9,234	48,636	13,915	254	474	528
浪 速 区	66,246	4,000	46,996	12,629	194	1,190	430
西 淀 川 区	96,858	13,085	60,844	22,375	△ 278	△ 919	722
淀 川 区	174,025	18,260	116,569	37,254	86	△ 298	1,543
東 淀 川 区	176,450	19,370	116,330	38,786	△ 238	△ 1,726	1,350
東 成 区	80,355	9,066	50,854	19,679	△ 140	△ 623	588
生 野 区	130,720	13,157	78,992	37,611	△ 453	△ 1,329	710
旭 区	91,027	9,971	55,150	25,570	△ 162	△ 1,017	692
城 東 区	164,904	21,219	103,790	39,127	△ 323	△ 1,348	1,214
鶴 見 区	111,877	18,022	70,147	23,045	△ 91	△ 456	740
阿 倍 野 区	107,909	13,215	67,192	26,859	184	△ 258	625
住 之 江 区	124,655	14,443	77,433	32,045	△ 321	△ 2,019	1,406
住 吉 区	155,061	18,402	95,612	40,077	△ 196	△ 1,195	1,199
東 住 吉 区	129,168	15,166	77,957	35,529	△ 242	△ 1,129	848
平 野 区	197,839	26,509	118,748	51,720	△ 750	△ 1,675	1,590
西 成 区	119,560	8,558	65,203	43,620	△ 186	△ 1,642	1,036

1) 総数は年齢「不詳」を含むため、内訳とは一致しない。

区別の年齢（3区分）別人口の割合をみると、年少人口では鶴見区が16.2%と最も高く、次いで西淀川区が13.6%、平野区が13.5%と続く。最も低いのは浪速区の6.3%となっている。

生産年齢人口では中央区が74.8%と最も高く、次いで浪速区が73.9%と続く。最も割合が低いのは西成区の55.5%となっている。

老年人口では西成区が37.2%と最も高く、次いで生野区が29.0%と続く。最も割合が低いのは西区の15.9%となっている。

表7-3 区別の年齢（3区分）別人口割合

区名	平成25年 (%)				24年からの増減 (ポイント)		
	総数 1)	0~ 14歳	15~ 64歳	65歳 以上	0~ 14歳	15~ 64歳	65歳 以上
	大阪市	100.0	11.4	64.4	24.2	△ 0.09	△ 0.62
北区	100.0	8.7	72.0	19.3	0.16	△ 0.53	0.37
都島区	100.0	11.6	66.4	22.1	0.06	△ 0.85	0.79
福島区	100.0	11.8	68.6	19.6	0.08	△ 0.23	0.15
此花区	100.0	12.3	62.8	24.9	△ 0.01	△ 0.85	0.87
中央区	100.0	8.4	74.8	16.7	0.35	△ 0.43	0.08
西区	100.0	10.7	73.3	15.9	0.15	△ 0.59	0.44
港区	100.0	11.4	62.9	25.7	△ 0.15	△ 0.74	0.89
大正区	100.0	11.7	60.2	28.1	△ 0.28	△ 0.90	1.18
天王寺区	100.0	12.9	67.8	19.4	0.13	△ 0.53	0.40
浪速区	100.0	6.3	73.9	19.8	0.13	△ 0.24	0.11
西淀川区	100.0	13.6	63.2	23.2	△ 0.22	△ 0.64	0.86
淀川区	100.0	10.6	67.7	21.6	△ 0.03	△ 0.70	0.73
東淀川区	100.0	11.1	66.7	22.2	△ 0.10	△ 0.75	0.85
東成区	100.0	11.4	63.9	24.7	△ 0.15	△ 0.64	0.79
生野区	100.0	10.1	60.9	29.0	△ 0.26	△ 0.52	0.78
旭区	100.0	11.0	60.8	28.2	△ 0.12	△ 0.79	0.91
城東区	100.0	12.9	63.2	23.8	△ 0.16	△ 0.64	0.80
鶴見区	100.0	16.2	63.1	20.7	△ 0.11	△ 0.52	0.63
阿倍野区	100.0	12.3	62.6	25.0	0.11	△ 0.57	0.46
住之江区	100.0	11.7	62.5	25.9	△ 0.17	△ 1.15	1.32
住吉区	100.0	11.9	62.0	26.0	△ 0.11	△ 0.70	0.81
東住吉区	100.0	11.8	60.6	27.6	△ 0.14	△ 0.63	0.77
平野区	100.0	13.5	60.3	26.3	△ 0.32	△ 0.59	0.91
西成区	100.0	7.3	55.5	37.2	△ 0.11	△ 1.02	1.13

1) 割合は年齢「不詳」を除いて算出している。

表7-4 年齢（3区分）別人口割合（上位7区）

順位	0~14歳		15歳~64歳		65歳以上	
	区名	割合 (%)	区名	割合 (%)	区名	割合 (%)
1	鶴見区	16.2	中央区	74.8	西成区	37.2
2	西淀川区	13.6	浪速区	73.9	生野区	29.0
3	平野区	13.5	西区	73.3	旭区	28.2
4	城東区	12.9	北区	72.0	大正区	28.1
5	天王寺区	12.9	福島区	68.6	東住吉区	27.6
6	阿倍野区	12.3	天王寺区	67.8	平野区	26.3
7	此花区	12.3	淀川区	67.7	住吉区	26.0

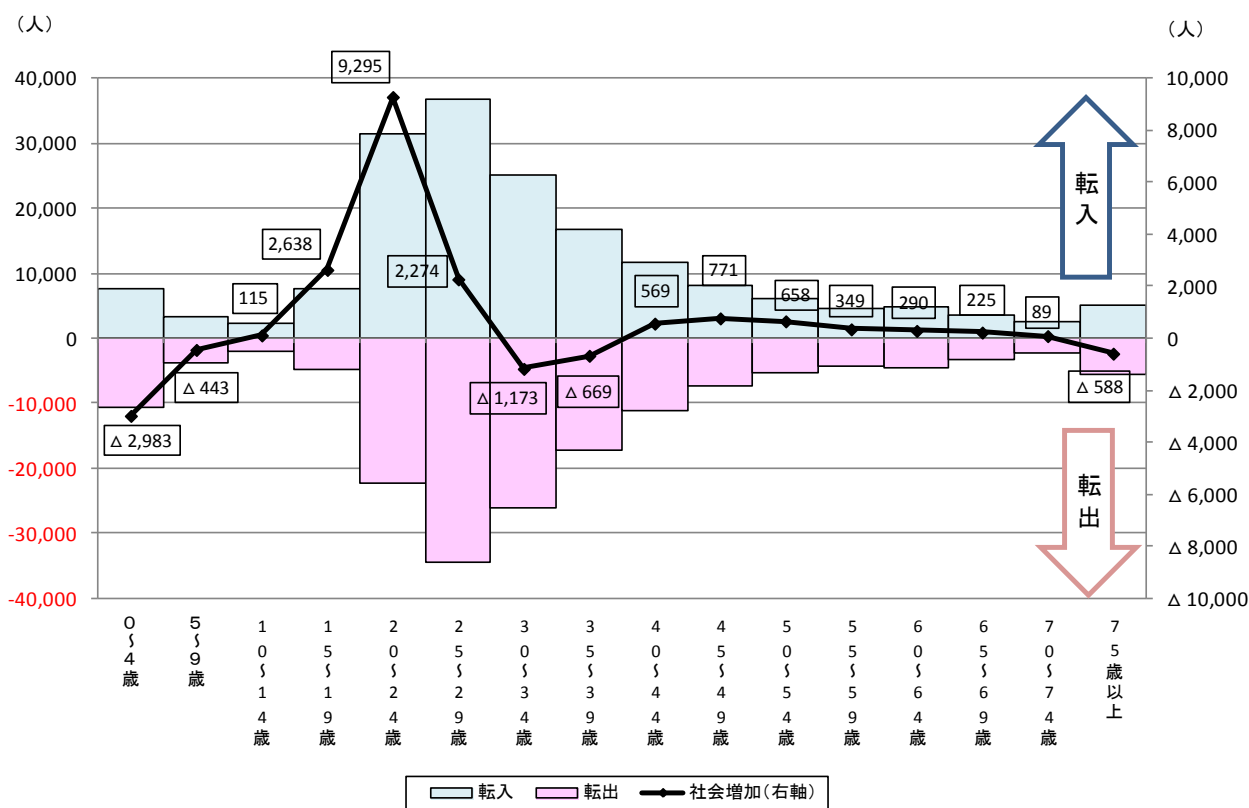
### (3)年齢(5歳階級)別社会動態

平成25年の社会動態を年齢(5歳階級)別にみると、15歳から29歳までの各階級で1000人を超える社会増加となっており、特に「20～24歳」では9295人の増加となっている。これに対して、30歳から39歳及び0歳から9歳までの各階級(世帯形成層・育児層及びそのこどもの層)では社会減少となっている。

表7-5 年齢(5歳階級)別転入、転出及び社会増加数

		(人)							
		0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
転入		7,693	3,247	2,207	7,588	31,552	36,826	25,074	16,698
転出		10,676	3,690	2,092	4,950	22,257	34,552	26,247	17,367
社会増加		△ 2,983	△ 443	115	2,638	9,295	2,274	△ 1,173	△ 669
		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
転入		11,755	8,087	6,049	4,670	4,824	3,482	2,492	5,120
転出		11,186	7,316	5,391	4,321	4,534	3,257	2,403	5,708
社会増加		569	771	658	349	290	225	89	△ 588

図7-1 年齢(5歳階級)別社会動態





(4)区別の年齢(5歳階級)別社会動態

区別の社会動態を年齢（5歳階級）別にみると、15歳から29歳までの階級での社会増加は中央区が1848人と最も多く、次いで北区が1812人、淀川区が1724人、浪速区が1718人、西区が1286人と続いている。30歳から39歳までの階級での社会減少は東淀川区が1008人と最も多く、次いで平野区が360人、生野区が301人、西淀川区が287人、城東区が221人と続いている。

表7-6 区別の年齢（5歳階級）別社会増加数

区名	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
大阪市	△ 2,983	△ 443	115	2,638	9,295	2,274	△ 1,173	△ 669
北区	△ 159	△ 3	56	268	937	607	260	148
都島区	△ 142	41	14	68	308	9	△ 67	△ 15
福島区	△ 114	△ 16	22	67	449	431	230	66
此花区	△ 60	△ 22	△ 1	53	58	105	30	△ 27
中央区	△ 69	39	65	251	973	624	210	253
西区	△ 229	11	△ 28	103	827	356	112	△ 25
港区	△ 106	△ 34	△ 7	7	251	△ 113	△ 171	△ 47
大正区	△ 33	△ 16	△ 5	△ 11	△ 6	△ 48	△ 47	△ 51
天王寺区	34	75	66	76	294	106	87	174
浪速区	△ 168	△ 14	23	323	1,109	286	△ 39	△ 1
西淀川区	△ 162	△ 41	△ 31	115	109	39	△ 160	△ 127
淀川区	△ 243	△ 63	△ 21	220	1,276	228	△ 159	△ 29
東淀川区	△ 389	△ 92	△ 3	272	855	△ 231	△ 599	△ 409
東成区	△ 151	△ 31	5	71	332	3	△ 63	△ 137
生野区	△ 128	△ 61	△ 15	153	400	△ 173	△ 184	△ 117
旭区	△ 50	△ 16	5	56	85	△ 27	△ 72	△ 21
城東区	△ 277	△ 25	△ 24	82	341	44	△ 141	△ 80
鶴見区	△ 154	△ 79	8	△ 25	41	172	△ 5	△ 70
阿倍野区	118	64	21	197	△ 11	66	132	152
住之江区	△ 105	△ 45	△ 21	△ 12	△ 65	△ 78	△ 103	△ 111
住吉区	△ 84	△ 16	△ 15	67	292	33	△ 14	△ 84
東住吉区	△ 69	27	18	89	105	△ 118	△ 103	△ 27
平野区	△ 217	△ 87	△ 27	28	188	26	△ 273	△ 87
西成区	△ 26	△ 39	10	120	147	△ 73	△ 34	3
区名	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
大阪市	569	771	658	349	290	225	89	△ 588
北区	209	186	84	41	58	22	4	9
都島区	23	39	19	△ 23	△ 33	10	△ 17	△ 43
福島区	143	63	55	2	13	△ 20	△ 4	△ 41
此花区	△ 27	△ 1	8	13	△ 17	13	△ 1	△ 17
中央区	177	147	62	41	△ 1	△ 32	3	△ 30
西区	△ 4	24	7	2	△ 46	△ 5	△ 27	△ 17
港区	△ 62	△ 64	8	△ 1	△ 16	△ 29	△ 25	△ 74
大正区	△ 51	△ 13	0	△ 22	△ 8	7	△ 13	△ 45
天王寺区	87	65	9	21	11	△ 16	8	34
浪速区	110	57	75	37	61	△ 2	1	34
西淀川区	△ 16	13	29	1	△ 35	△ 13	△ 10	△ 18
淀川区	27	98	36	70	△ 38	1	△ 41	△ 90
東淀川区	△ 84	39	△ 13	△ 11	26	8	15	△ 41
東成区	△ 44	△ 5	46	4	11	7	3	△ 6
生野区	△ 37	13	13	△ 10	21	2	△ 2	△ 61
旭区	△ 14	5	17	0	14	6	12	△ 45
城東区	△ 77	△ 27	15	11	△ 14	△ 17	△ 27	△ 96
鶴見区	△ 47	△ 6	△ 17	8	6	24	0	△ 24
阿倍野区	174	17	16	△ 20	△ 17	△ 13	△ 10	△ 137
住之江区	△ 10	△ 4	△ 32	△ 9	7	△ 23	25	10
住吉区	△ 55	△ 35	15	△ 3	32	47	29	△ 8
東住吉区	45	8	8	38	17	△ 3	△ 4	55
平野区	△ 20	△ 15	0	18	△ 4	77	51	0
西成区	122	167	198	141	242	174	119	63